

# 平成30年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社sMedio

(東証マザーズ：証券コード3913)

<http://www.smedio.co.jp/>

平成30年8月10日（金）

本資料の無断複写、無断転用はしないで下さい

本資料の要因分析は、当社が適切と考える方法で実施している点、ご理解下さい。



Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



1. 連結業績概要	…P3
2. 連結決算概要 (BS)	…P4
3. 形態別連結売上高推移	…P5
4. 連結売上高増減要因(計画比)	…P6
5. 連結営業利益・連結経常利益推移	…P7
6. 連結営業利益増減要因(計画比)	…P8
7. 研究開発費推移	…P9
8. 通貨別預金残高	…P10
9. 本資料の取扱いについて	…P11

本資料中の数値は、単位未満四捨五入で表記しております。  
なお、端数処理の影響で、各表の項目の合計と合計欄が一致していない場合があります。

# 1. 平成30年12月期第2四半期 連結業績概要



単位:百万円(四捨五入)

(参考)

	平成28年	平成29年	平成30年	前年同期比		平成30年 1-6月期(計画)
	1-6月期	1-6月期	1-6月期			
売上高	690	586	534	△51	△8.8%	611
売上原価	309	271	260	△11	△4.1%	317
売上原価率	44.8%	46.4%	48.7%	2.4%p		51.9%
売上総利益	381	314	274	△40	△12.8%	294
販管費	226	272	245	△27	△9.9%	285
営業利益	155	42	29	△13	△31.3%	10
営業利益率	22.4%	7.2%	5.4%	△1.8%p		1.6%
営業外収益	2	2	2	△0	△3.0%	—
営業外費用	158	1	2	0	7.9%	4
経常利益	△2	43	29	△13	△31.5%	6
特別利益	—	—	—	—		—
特別損失	—	5	0	△5	△98.4%	—
税金等調整前四半期純利益	△2	38	29	△9	△22.8%	6
法人税等	12	28	17	△11	△40.3%	3
非支配株主に帰属する四半期純利益	△2	—	—	—		—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△11	9	12	3	29.4%	3

(売上高) 当社ソフトウェア搭載機器の出荷台数が前年同期を下回った影響が大きく、売上高は51百万円の減収となった。

(販管費) のれん償却負担減少7百万円、前年同期の本社移転関連費用剥落16百万円等で減少。

(営業利益・経常利益) 売上高減少による影響を補えず、前年同期を下回った。

(最終利益) 当社単体の繰越欠損金や米国の法人税減税等で税負担が減少し、最終利益は増加。

## 2. 平成30年12月期第2四半期 連結決算概要 (BS)



単位:百万円(四捨五入)

資産	平成28年 12月末	平成29年 12月末	平成30年 6月末	前期末比
現金及び預金	1,364	1,219	1,223	4
売掛金	79	58	57	△1
棚卸資産	380	245	205	△40
その他	52	35	34	△1
流動資産合計	1,875	1,557	1,519	△38
有形固定資産	19	23	22	△1
ソフトウェア	58	39	32	△7
のれん	186	117	101	△16
その他	2	2	1	△0
無形固定資産合計	246	158	135	△23
投資その他資産	27	28	27	△0
固定資産合計	292	209	184	△25
資産合計	2,166	1,766	1,703	△63

負債・純資産	平成28年 12月末	平成29年 12月末	平成30年 6月末	前期末比
買掛金	34	29	29	0
短期借入金	134	125	125	—
未払法人税等	8	28	21	△7
預り金	9	83	82	△0
賞与引当金	1	2	12	10
その他	60	67	57	△10
流動負債合計	246	334	326	△8
長期借入金	250	124	62	△63
その他	18	14	14	△0
固定負債合計	268	138	76	△63
資本金・資本剰余金	1,163	1,175	1,175	—
利益剰余金	471	329	342	12
自己株式	△0	△227	△227	—
その他	18	17	12	△5
純資産合計	1,653	1,294	1,302	7
負債・純資産合計	2,166	1,766	1,703	△63

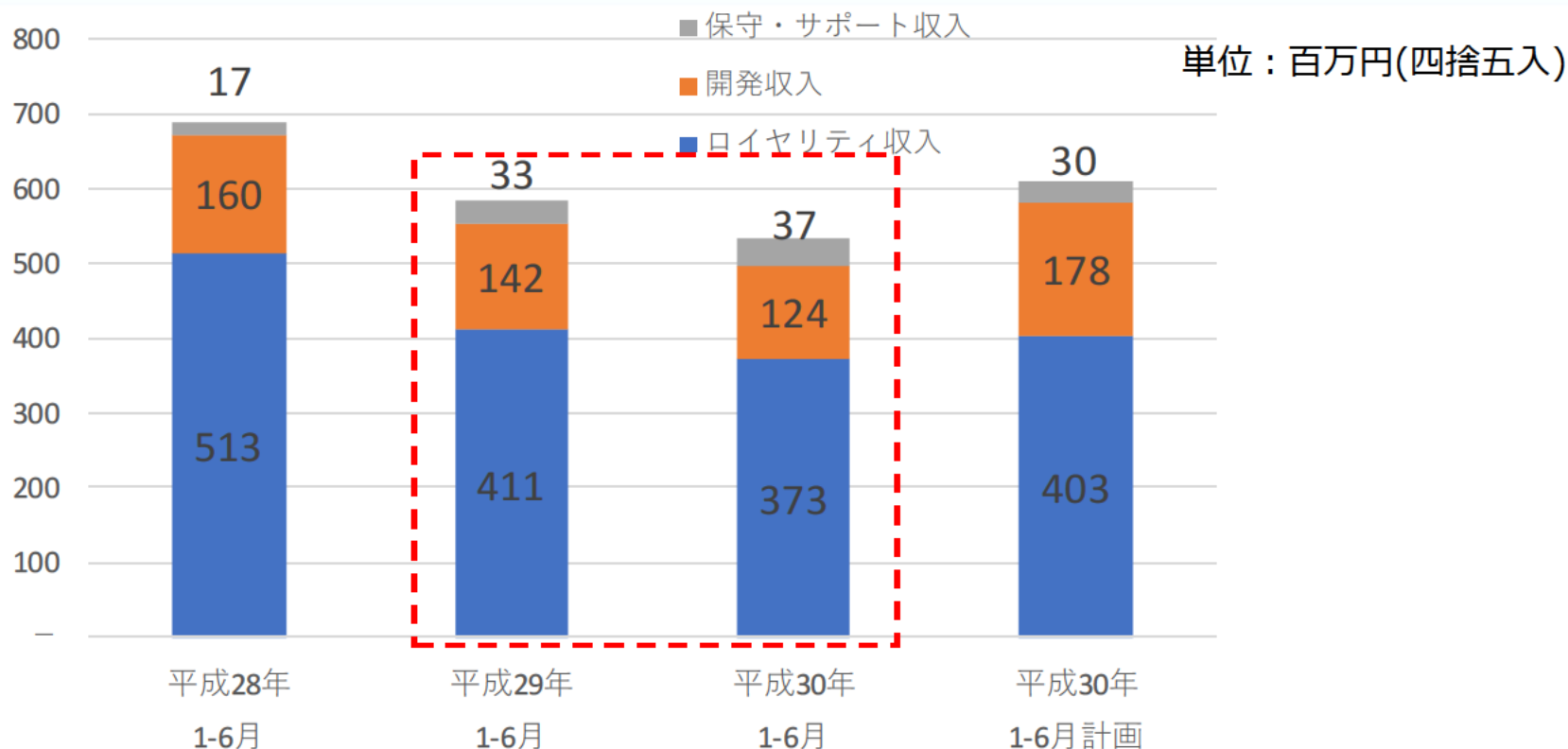
### (資産)

- ・ 棚卸資産は、前払いしたロイヤリティの払い出しによる減少70百万円や仕掛品の増加30百万円等で、40百万円減少した。

### (負債)

- ・ 約定返済により、長短合わせて借入金が63百万円減少した。

### 3. 形態別連結売上高推移



連結売上高合計	690	586	534	611
---------	-----	-----	-----	-----

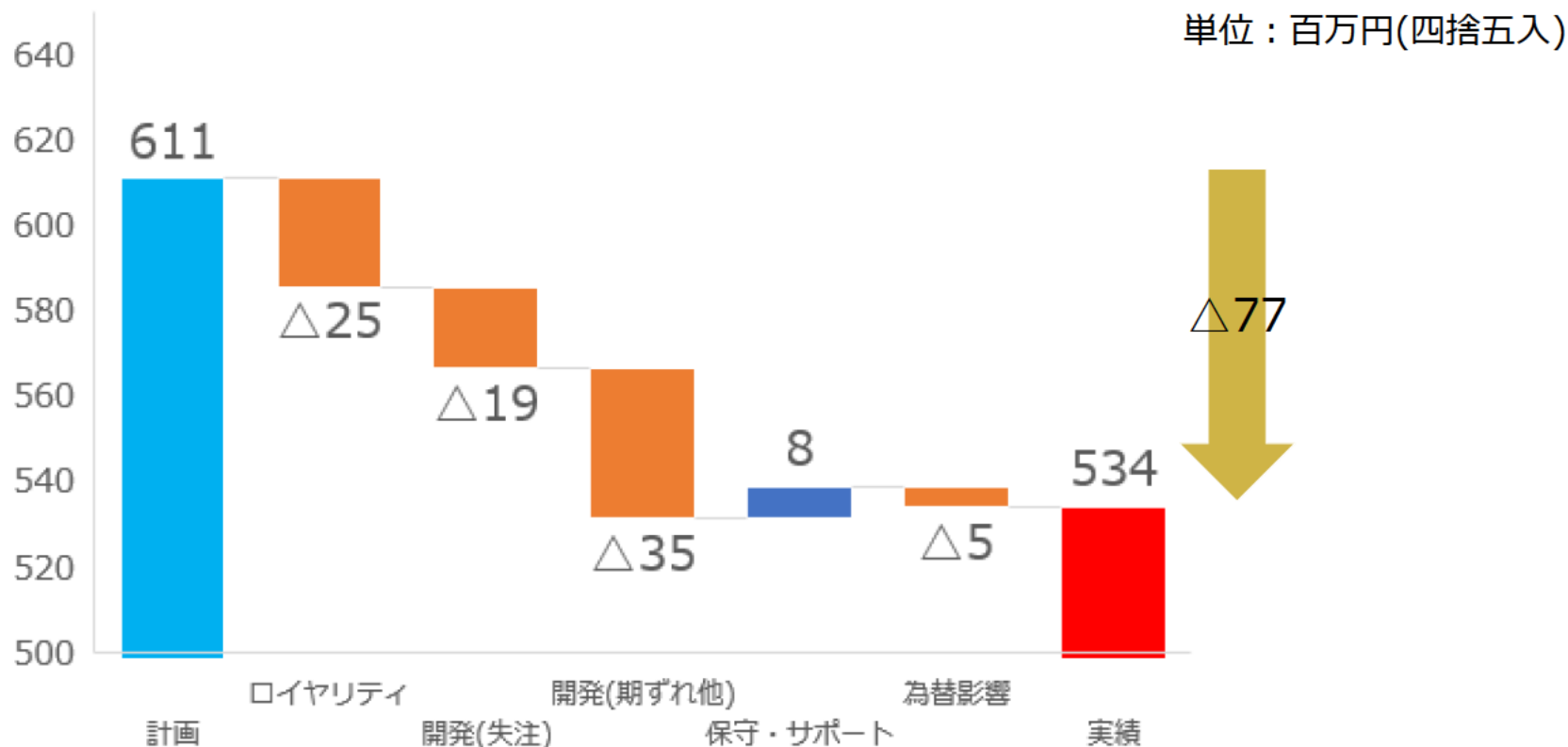
#### (ロイヤリティ収入)

当社ソフトウェア搭載機器の出荷台数が前年同期を下回ったことで37百万円減少。

#### (開発収入)

子会社・タオソフトウェアの開発案件の完成が第3四半期になった影響で15百万円減少。

## 4. 連結売上高増減要因（計画比）



### (ロイヤリティ収入)

- ・当社ソフトウェア搭載機器の出荷数が想定を下回り、画像解析AIエンジンのソリューション販売も遅れ（実証実験が想定より長引い）た影響14百万円等で、計画比29百万円減少。

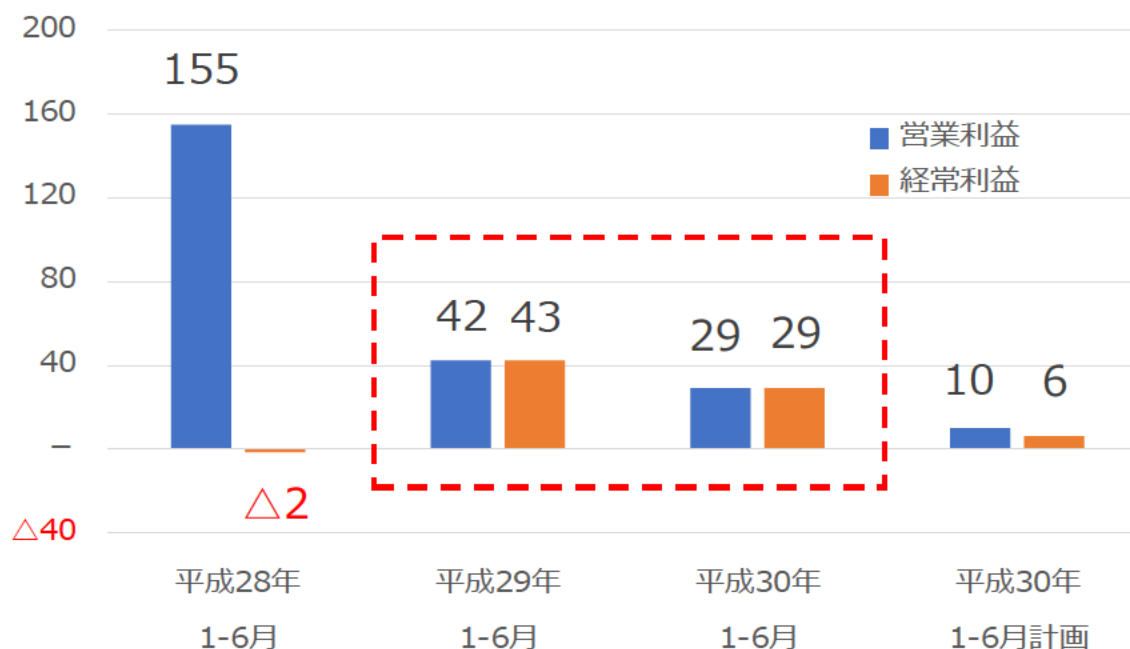
### (開発収入)

- ・見込んでいた案件を受注できなかった影響19百万円や期ずれ等で、計画比55百万円減少。



## 5. 連結営業利益・連結経常利益推移

単位：百万円(四捨五入)



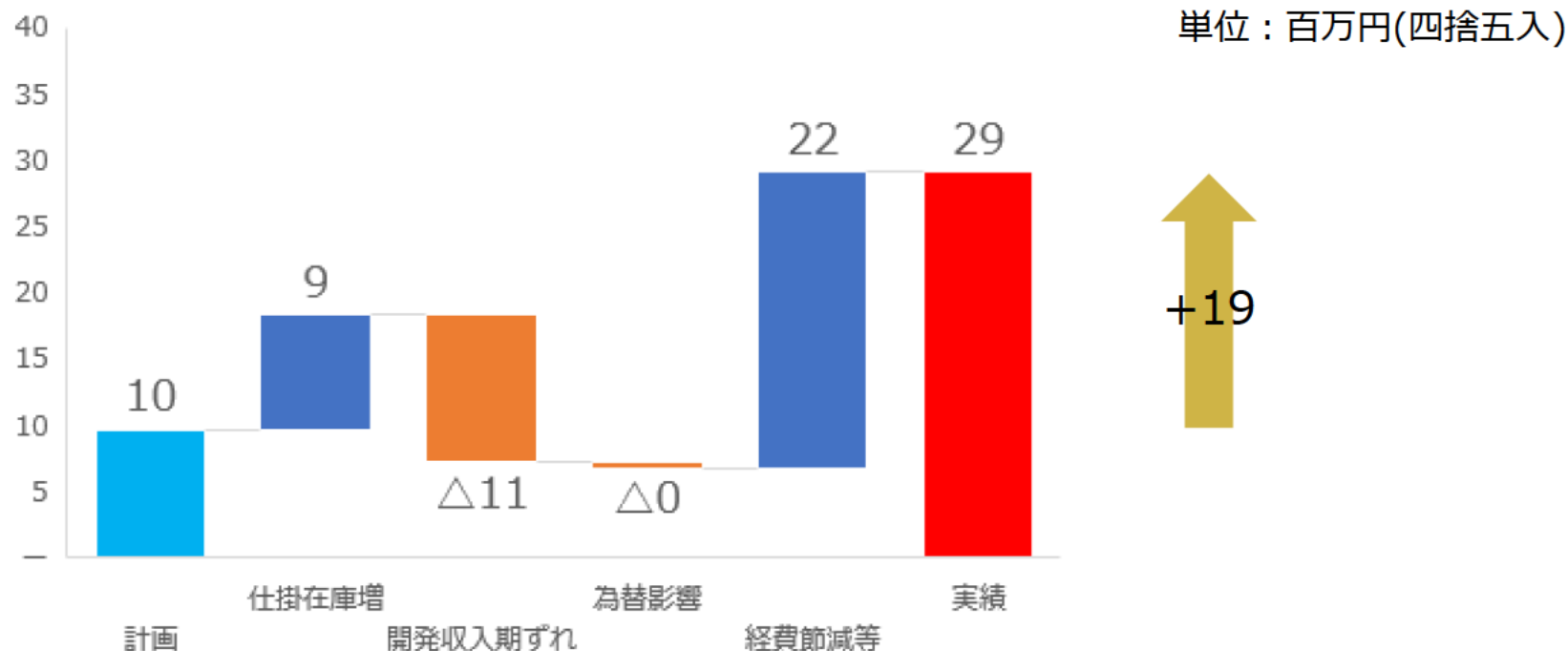
連結営業利益	<b>155</b>	<b>42</b>	<b>29</b>	<b>10</b>
連結経常利益	<b>△2</b>	<b>43</b>	<b>29</b>	<b>6</b>

### (営業利益・経常利益)

売上高の減少により、売上総利益が40百万円減少したが、のれん償却費負担の減少7百万円、前年同期の本社移転に関する費用16百万円の剥落等により、営業利益は前年同期比13百万円減少の29百万円となった。

為替差損益も抑えられており、経常利益は、営業利益と同水準の29百万円となった。

## 6. 連結営業利益増減要因（計画比）



開発人員の採用が、一部、第3四半期にずれ込んだことなどによる人件費の増加幅縮小や節減に努めた旅費交通費などの経費が計画を下回ったことなどで、営業利益は計画を19百万円上回った。

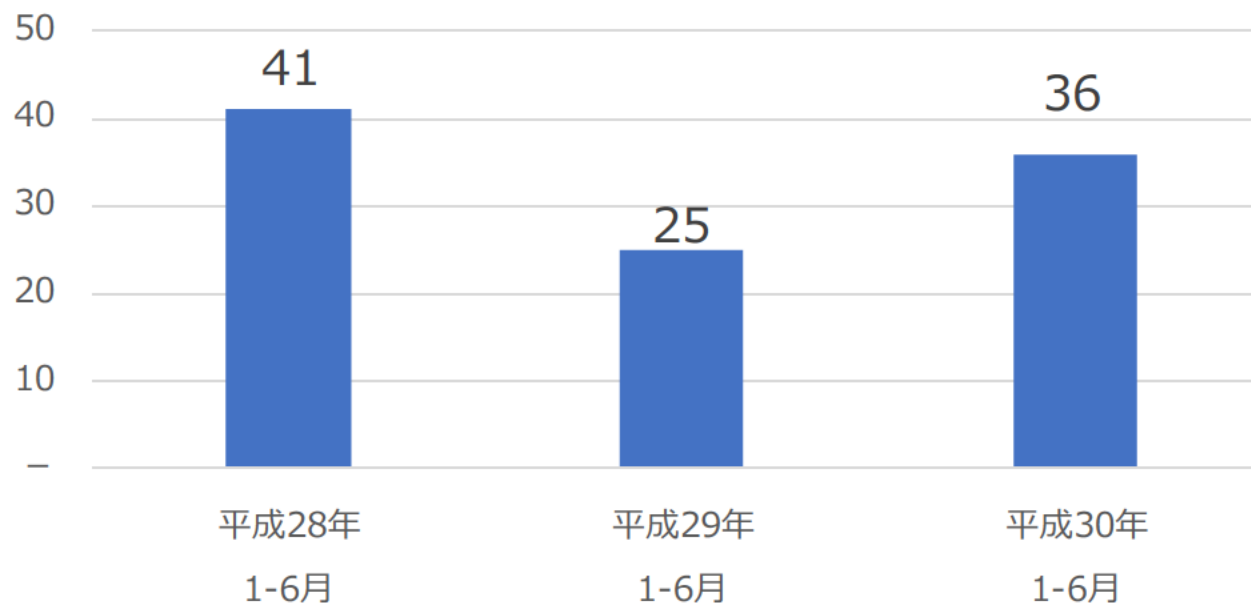
(注) 開発収入期ずれによる影響額は、開発完了が当第2四半期であると見込んでいたが、第3四半期へとずれ込んだ案件で見込まれる利益を概算の原価率をもとに算定した数値になります。

仕掛在庫増加による影響額は、上記開発収入期ずれによる仕掛在庫増加を除いて算定している。



## 7. 研究開発費推移

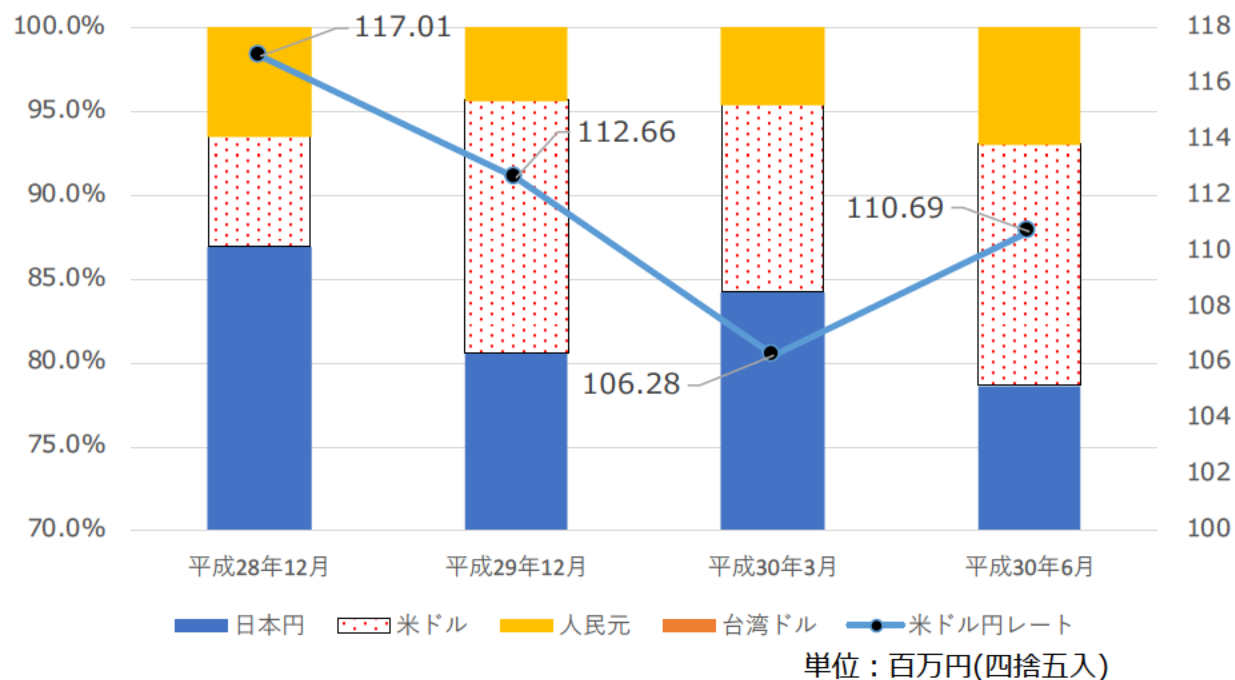
単位：百万円(四捨五入)



前年同期は、VR関連製品が主な研究開発の対象であったが、当第2四半期は、AI関連とブラウザ関連が研究開発の対象として割合が増えている。

(注) 当社の研究開発費は、受注決定前までの先行開発期間にかかる内部開発人件費を主としています。そのため、研究開発費の水準の評価にあたっては、受注済案件への開発リソース配分を増やすと、研究開発費は減少する傾向にある点にご留意ください。

## 8. 通貨別預金残高



平成30年6月末時点の現預金残高は、前年末に比べ、微増となった。

本資料は、株式会社sMedio（以下、「当社」といいます。）の決算情報の説明のために作成されたものであります。

本資料に記載されている計画や見通し、将来展望などは、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と考えるものであります。が、これらには、様々なリスクや不確実性が内在しています。

様々なリスクや不確実性には、既知のものもあれば、未知のものもあり、当社が発表している計画や見通し、将来展望、将来の業績などが、実際の業績などと異なる結果となる可能性があり、当社として、それらの実現を保証するものではありません。